

あなたのメモリー

若年性アルツハイマー患者向け
自立支援マネージャー

2015.03.22.

チーム：愛のメモリー

吉田・高根澤・佐藤・山本・橋本
(乙原・古川・中尾)



ターゲット

- 若年性アルツハイマーの患者
 - 比較的初期の段階
 - 病気に対する自覚がある
- その他に
 - 加齢による物忘れを解決したい人

解決したい課題

記憶障害・見当識障害	やるべきことがわからなくなる
ここにフォーカス	日常生活の段取りがわからなくなる
	人との約束を忘れる
	行く場所、今いる場所がわからなくなる
病気に対する不安	アイデンティティ喪失
	プライドの崩壊
家族の負担	生活の補助の負担
	本人が何をしたいのかわからない

課題解決のためのアイデア

Goal

できる限り現在の日常生活を維持する
(できれば仕事も)

やるべきことの手順を教えてくれる
アプリケーション

- ・ 本人の自立支援
- ・ 周囲との情報共有

提案するアプリケーション

- スケジュール管理機能
設定した時間にタスク開始をお知らせ
- タスク毎に手順を記録し、ワンステップずつガイドするアプリ
 - 例1) 外出までに確認すること（持ち物チェック、ガス・水道、戸締りなど）
 - 例2) 仕事の作業手順（工程1～n）
 - 例3) 料理（作り方の手順）
 - 例4) 買い物（買う店、買うもの、数量など）

提案するアプリケーション

♪タスク毎に好きなBGMを流す♪

・イメージ

ガスはしめた？

電気は消した？

お財布持った？

いってらっしゃい



提案するアプリケーション

- 機能はシンプルに
 - 1つのタスクに複数の手順を登録
 - 1つの手順にはテキスト、写真（動画）、音声の3種類で登録可能
 - タスクを開始すると、手順を視覚（テキストor写真）または聴覚（音声）で1手順ずつお知らせ
 - 1手順毎に利用者が確認すると次の手順に進む（確認は画面にタッチ、または音声で応答）
 - 最後の手順が確認されたらタスク完了のお知らせ
- ※できないことのレベルに合わせて使い
次第

提案するアプリケーション

- 情報を共有
 - タスク・手順登録は利用者本人とサポーター（家族、介護者、ジョブコーチなど）が行う
 - タスク・手順の登録は利用者本人とサポーターが実際の手順を踏みながら、写真や音声で登録していく
 - 手順毎の確認状況を記録し、いつも滞りやすい手順は見直してフィードバック → 人手の介助の要否も検討
- セキュリティ
 - 個人を特定する情報は登録せずに会員IDとパスワードのみで識別
 - データの公開範囲はタスク毎に設定
家族、介護者など利用者以外の登録・閲覧をタスクごとに制限する？

サービス開発のポイント

ビジネスとして

- 費用負担
 - 利用者（本人、家族、介護者）
 - 関連企業
- 機能や履歴保存量で従量課金制等を考慮
- 基本的には個々人で手順を登録するけれど、他の人にも使えるような工夫やアイデアで汎用的な手順を作って皆に共有することで「いいね！」ポイントを集めれば料金割引になる等インセンティブ

サービス開発のポイント

ビジネスとして

- 市場規模
 - 若年性アルツハイマー患者
…38,000人(2013年)
 - その他軽度の認知症患者
 - 加齢による物忘れに悩む人
 - 別の病気へのサービスにも応用
例) MCI (軽度認知障害) など … 380,000人 (2010年)
- コスト
 - 開発コスト
 - オフショアを活用し低コスト化
 - 助成金の利用 (例: 『新事業創造支援補助金』 TAMA協会などの連携/指導により補助金の導入を図る)
 - 運用コスト
 - AWSで小規模でお試しスタート